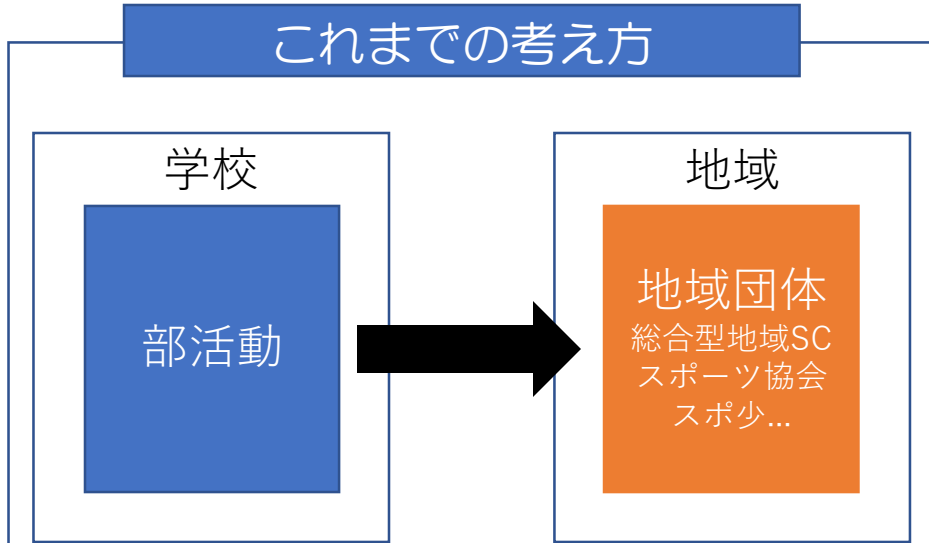


第3回 東温市部活動地域移行検討協議会

令和6年3月4日（月）午後7時から
東温市役所4階大会議室

移行推進期間における取組の方向性の変更

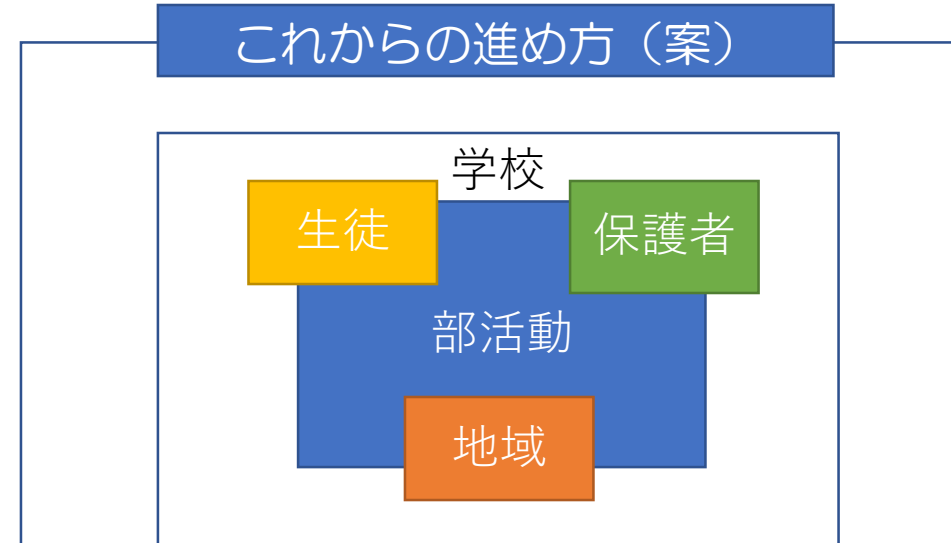
これまでの考え方



- ◆スポーツ・文化芸術活動を学校部活動から地域へ
- ◆受け皿が見つかり次第、順次移行させる。
- ◆1つの部活の実証事業を行い、その経過を見ながら拡充させる。

行政主導から
みんなが参加
して考える
方法へ

これからの進め方（案）



- ◆既存枠組みである学校部活動を基に、生徒・保護者、地域が自主的に参加し、主体的に運営を考える。
- ◆部活動運営に係る関係者の合意形成を図る。
- ◆学校、生徒・保護者、地域による部活動運営を支える体制を整備する。

実証事業に対する保護者意見（概要）

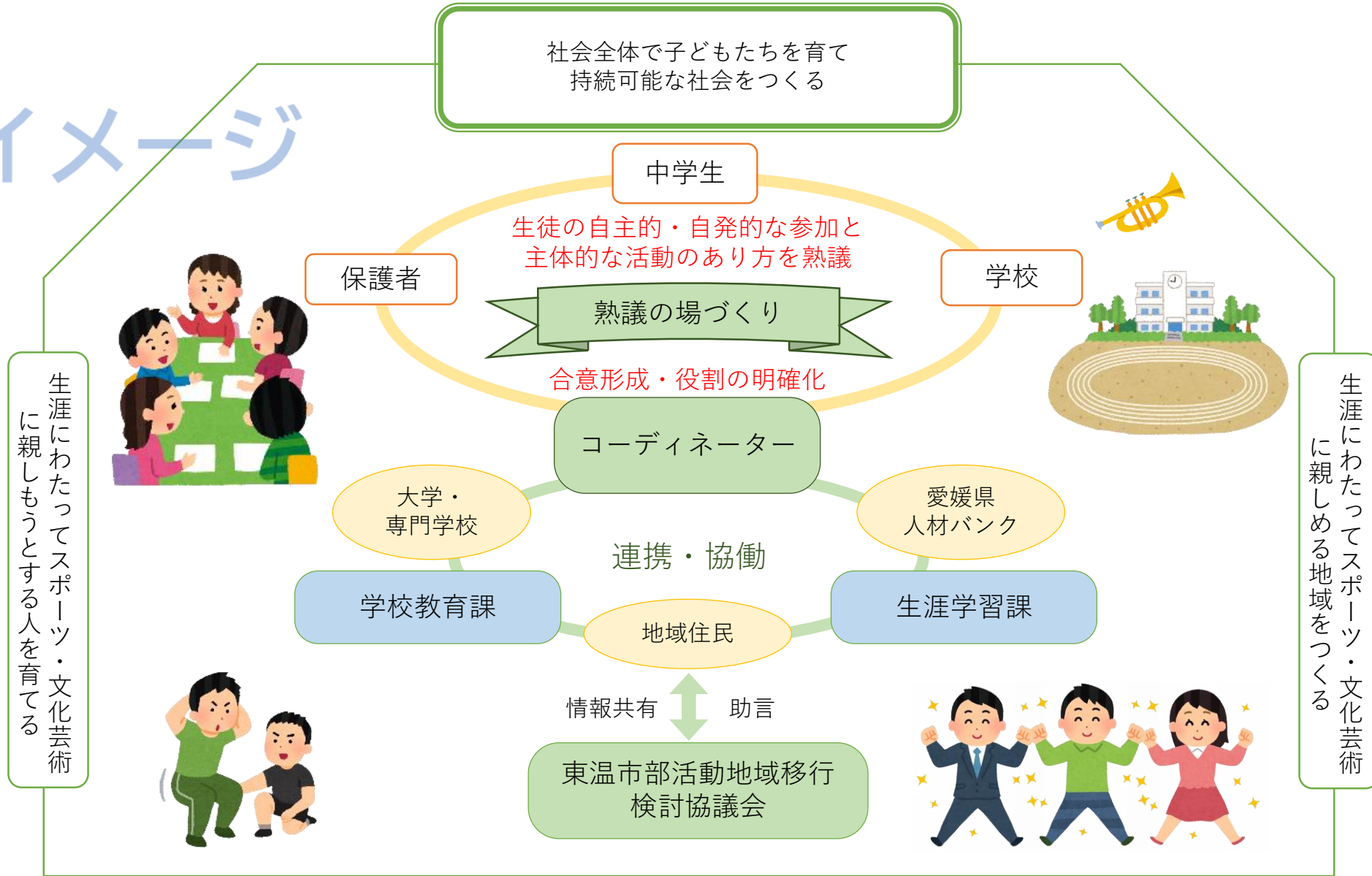
- ◆アナウンス時期（2月・3月）として遅すぎる。クラブチームを視野に入れるなら、半年以上前じゃないと遅い。今からは他のクラブチームは募集時期を過ぎていたため、選択の余地がない。
- ◆場所と時間が部活動とかけ離れている。家庭でも新入学に向けた生活リズムを構築しており、塾などの段取りを整えつつある中で急な変更は影響が大きすぎる。
- ◆興味のある活動の中で同じ学校の生徒同士の関係を深めて行くことが部活動の意義の一つと思っている。段階的な移行において新1年生のみ部活動の選択ができないなど、学年で扱いが分かれるのはどうかと思う。
- ◆そもそも地域移行とは、指導者が教員でなくなる程度の認識しか無かった。ここまで変わるのには意識がついていかない。丁寧に段階を踏んでほしい。

取組の方向性の修正へ

- ◆生徒、保護者、地域が一体となって、地域のスポーツ・文化活動を考えていけるよう、話し合いの場を設ける。
- ◆地域移行は、学校、生徒、保護者、地域等関係者が、一方に過度な負担が偏ることの無いよう協議し、合意形成を図る。
- ◆地域移行の受け皿については、既存の枠組みである部活動についての協議（部活動改革）を一つ目のステップとし、丁寧に進めていく。
- ◆部活動改革は、生徒や保護者が安心して参加できるよう、自らの意見を出し合い議論し、持続可能なあり方について協議する。
- ◆望ましい部活動の在り方に対する議論と平行して、それを支えるサポート体制の整備を進めていく。
- ◆地域移行に関する協力を既存団体以外にも広げ、様々な地域資源の活用を検討するなど、柔軟に取り組む。

東温市部活動地域移行（部活動改革）事業 イメージ

イメージ



推進計画コンセプト・地域移行推進計画の見直し

理 念	学校、生徒・保護者、地域が熟議して合意形成を図り、持続可能で「望ましいスポーツ・文化活動環境の在り方」をつくる。
実施内容	部活動を基調とした持続可能な改革 「望ましいスポーツ・文化活動環境の在り方」を支える連携体制の構築
スケジュール	推進期間は、部活動の廃止ではなく、合意形成を図るための枠組みや支援体制の構築を目指す。

今後の流れ



- ◆R6事業内容の推進（R6第1回協議会に先行して開始）
- ◆各団体・関係者への周知・啓発及び協力依頼
- ◆役員改選等による協議会委員委嘱

次回 東温市部活動推進検討協議会

- ・令和6年6月頃予定
- ・推進計画（修正案）の提示
- ・令和6年度事業の説明 ほか

その他意見等

委員名	意見
藤田 恒心	部活動の地域移行となると個々の家庭の負担が増加すると思われる。
	教師の負担が増加しているのであれば教師の数を増加すべきであると考えます。
渡部 康彦	実証事業などの成功例、失敗例を活かすため、多くの話し合い、検証が必要と思う。
	オンラインのみの意見では、良い提案が出ないと思う。もっと会議を増やすべきだ。クラブ活動に必要なのは、人材。指導者の選定に注意すべきだと思う。



今後の進め方

部活動の廃止ありきでない議論
対面会議を原則